

令和6年 7月 11日



岩倉市議会

議長 関戸郁文 様

日比野 走

研修受講報告書

このことについて、下記のとおり受講しましたので報告いたします。

記

- 1 実施日 令和6年 4月 18日(木) ～ 4月 19日(金)
- 2 研修先 JIAM 市町村長等・議会議員特別セミナー
- 3 復命事項
別紙のとおり

令和 6 年第一回 JIAM 市町村長等・議会議員特別セミナー

国家戦略特区の取り組みと地方創生 兵庫県養父市 広瀬栄市長

30 年 やぶ 2050 居空間（養父市に住む人にとって居心地が良い）

社会変革を生み出す新たな結の創出

養父市教育特区

学校設置会社による学校設置

教育委員会ではなく、株式会社による学校運営。

設置 株式会社ヴィザス

高齢化による担い手不足を〆経営ノウハウのある企業の参入。個人の様々な農あるライフスタイルの提案。などであらゆるかたちで担い手を求める。

養父市の規制改革メニュー

- | | |
|---------------------|------------------------|
| 1 市と農業委員会の事務分担 | …農地の権利移転の手続き迅速化 |
| 2 農業生産法人の要件緩和 | …農作に従事する役員が1人でも生産法人扱いに |
| 3 企業による農地取得の特例 | …企業の農地参入の促進 |
| 4 農地への信用保証制度適用 | …商工者の資金調達の円滑化等 |
| 5 農地地区域内に農家レストランの設置 | …レストラン側の所得向上や、雇用確保に繋がる |
| 6 古民家への旅館業法の適用除外 | …地元の歴史文化資産を活用して地域活性化 |
| 7 高年齢等の雇用安定に関する特例 | …派遣シルバー人材の就業可能時間の引き上げ |
| 8 NPO 法人手続き迅速化 | …必要書類の縦覧期間が2週間に短縮 |
| 9 過疎地での自家用車の活用拡大 | …一定区内では、自家用車の旅客運送が可能に |
| 10 テレビ電話での遠隔薬指導 | …外出困難な方やコロナ禍でも診療機会を確保 |

やぶくる（自家用車有償観光旅客運送事業）

交通機関が不便な地域において、市民や観光客の交通手段を充実させるために自家用車の活動拡大を模索。国家戦略特区を活用し、平成 30 年 5 月に自家用有償運送の特例として訪日外国人をはじめとする観光客のライドシェア実現。

遠隔事業特例法制

医療福祉分野の規制緩和として、治療から服薬指導までのプロセスを遠隔で完結させることで効果的な医療器械を確保することを提案。患者本人の負担を軽減するだけでなく、通院による第三者への感染リスクを制御する狙い。

下水サーベランス事業

下水の出口に、排水内に含まれる細菌やウイルスを測量するシステムを組み込むことで、市民同士が過剰な接触を伴うことなく感染症の種類や傾向をつかむことが出来る。コロナ禍に展開された事業でありコロナ禍収束後も主に、ノロインフルエンザ検出などの感染症対策として利用される。

4ヵ所、細菌の測量結果は、9町ごとに計上され教育委員会には詳細な感染症の傾向を伝えることが出来る。

単独予算 通年 2年半で年間 **2500 万前後**

やぶ医者大賞

医療過疎地において、特色あるすぐれた取り組みを続ける若手医者、歯科医師を顕彰し、地域の在り方と未来を考える。松尾芭蕉の門弟**森川許六**の選定した『風俗文選』には、やぶ医者は本来名医をしめす言葉であるとされているので、これらの背景を偲んで「やぶ医者大賞」を実施している。

吉本興業の地方創生の取り組み 泉正隆

住みます芸人 2011 年 1 月に 500 組の芸人から住みます芸人オーディション
2011 年 4 月 47 都道府県「あなたの街に住みます芸人」

愛知県犬山市にて 9 月より住みます芸人が城下町を人力車で案内をする「お笑い人力車」がスタートした。5 年間で 14 万人の観光客を増やすなど誘客に貢献。

香川県では住みます芸人の梶剛が香川を盛り上げるため 2017 年より「**かじ祭り**」を開催。地元の飲食店を出店者として迎え香川のええもん、うまいもんを紹介する祭りとして 1 日 15000 人を来場させる。

観光協会とは互換性がよくお笑い、乗り物、ガイドの 3 セットを軸にして観光振興に努める。

地域コミュニティの活性化

自治体と連動したまちづくり市民参加型プロジェクトを実施していくために、**包括連携協定の締結**が、23 自治体(24 年 1 月時点)となされている。 2016 年に北海道と本協定を締結した際に 8 月 8 日を「道民笑いの日」として制定し、8 月上旬に「みんなわらウィーク」を開催していくことで、笑いの力で健康長寿の北海道を目指す。

地域マーケティングによる戦略的な街づくり 秋田大学 益満 環

秋田の日本酒作り 秋田は（美酒王国の秋田）と呼ばれ年間 500 種ほどの美味しいお酒が生まれる。全国 5 位の製造量、全国二位の消費量を誇っているが、消費を外部に向ける必要がある。

産（産地）学（大学）官（秋田県）が協力して、日本酒を作り地域活性化に貢献する。日本酒を作るだけでなく、日本酒を活用した地域活性化が最終目的。米作り、酒造、販売、PR まで一貫して学生たちが関わる。国内では希少。

日本人の品質の高いのはわかっているが、それが買い手に伝わってなくてはならない。YouTube やインスタで発信していたが限界を感じ、TV CM による情報発信を試みる。一目惚れでない限り 3〜7 回のアプローチが必要とされる。

効果の高かったメディア

秋田の半数が（地元新聞購読者。）休日に見る長寿番組

産学官連携成功の要因

1 志と目的の共有 2 資金人材の確保 3 既存の地域資源の活用

コミュニケーション… 志や目的が相手方とズレるとプロジェクトが失敗に。
その他多忙や情報機器への疎さが失敗の原因にも。

あらゆる人を巻き込む… 立場や活動域を超えて連携するのが肝要
仕事が趣味、興味得意なことが活かせるように

既存資源の活用… 地域資源として地域の特徴や長所に着目してそれらを生かす方法を考える。地域内では当たり前のものでも他の地域や新しい世代から見ると新鮮で魅力的に映る可能性がある。プロジェクトには金銭的・時間的限界があるため、無理や欲張り禁物。

まとめ

商品力と発信力のバランスを取るのが大事。連携の不調和は基本的に「ヒト」に起因する。学生の地域、技術を上手く活用しよう。
当事者意識を持って地域を盛り上げよう。

地域ブランディングのケーススタディ 矢田部美咲 取締役

創業経緯

宮崎県日南市に越した時、地域おこし協力隊で活動し、古い街並みを守る為に観光庁補助金事業（3000万円）された事で香水関係のある商品開発。モロッコのマラケシュ、日本製クラフトジンなど香り高い商品で以って柑橘系の名産とする喜界島を興していく。観光庁補助金の獲得も、要請書に詳らかに作成。どのようにしたら売れるかストーリー仕立てで文章を展開、プロモーションビデオや写真など多様な媒体を補助資料として駆使しながらアプローチすることで補助金を獲得できた。

珊瑚ディフューザー

本製品は大量生産に向かず、金額が高騰する傾向にあるため敢えて少量生産体制をとることで希少性を持たせる戦略を展開することで商売を軌道に乗せる。顧客ターゲットも広い層を狙わずに、独自性のある持ち物やこだわりのあるニッチ層へのセールスに注力することで、本製品の購買力を持たせることが出来た。また、海岸に落ちている珊瑚をアロマストーンのように使う事で街に貢献しながら新事業へと展開できるように。障がい者施設の方々も殻を拾う手伝いするようになり、その売上が珊瑚保全活動に充てられるなど地域循環も生じさせることも。

感想

養父市が国家戦略特区として取り組まれている教育、農業、下水道事業のインパクトが凄まじいものだった。

農業に関する条例の規制改革される中で、全国展開されていった経緯もあって日本の自治体発展に大きく貢献している市長のお話を聞いたのは貴重だった。

下水サーベイランスが画期的でありながら、どの自治体でも需要が見込め、再現性も高い事業であることから本市での導入を所望したくなる程のものであった。益満教授のお話では、商品力と情報発信力のバランスを両立しなければ事業の持続ができない時代となってきた。学生らの情熱とそれらを最大限生かすための綿密なコミュニケーションが地域活性の鍵となっていることを知れた。矢田部取締役のお話でも、喜界島の特徴である柑橘類や海に落ちている珊瑚などを生かすことで地域貢献していることがわかった。